

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

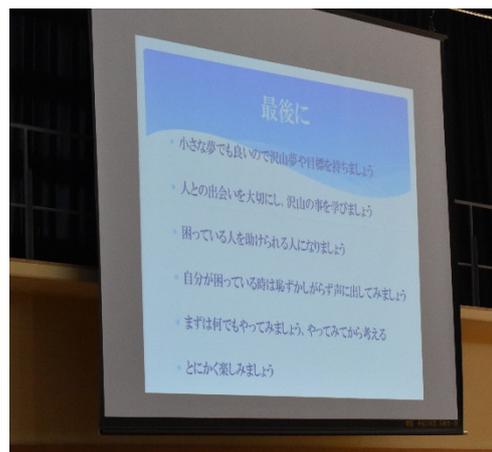
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立城陽高等学校 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	全校生徒（923名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック推進事業） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・パラリンピック大会や、パラ陸上競技についての興味関心を高めつつ、障がいを持ちながらもアスリートとして活動する人から勇気をもらう。 ・目標を設定し、継続して努力することの大切さを学び、自己の夢や進路決定に生かす。
5 取組内容	(1) 講演会 10月16日 6時間目 ① 演題 挑戦することの大切さ ② 講師 森 卓也 氏 医療法人養和会 養和病院所属 砲丸投げ・円盤投げ 日本記録保持者 2018 アジアパラ競技大会 陸上競技日本代表 砲丸投げ5位入賞 ③ 内容 ア 生き立ち イ パラ陸上競技との出会い ウ 東京パラリンピック出場を目指して



	(2) 実技交流 10月16日 放課後 陸上競技部生徒との交流 座位投擲競技の実演や生徒体験
6 主な成果	<p>講演は好評で、生徒の聴講態度を見ていると、顔を上げて話を聞いている生徒が多かった。また、講演後の質問も積極的に手を挙げる生徒がいた。障がい者問題について学ぶ人権学習の導入ともなった。</p> <p>実技交流は、陸上部員のみという少人数となったが、部員全員が森氏の講話や実演に吸い込まれていき、森氏の競技に対するひたむきな姿から精神面や技術面において多くのことを学び取った。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	講師の要望により、講演主体というよりも質疑応答をメインで行った。
8 主な課題等	実技交流について全校生徒にみてもらうことができなかった。
9 来年度以降の実施予定	未定